

那覇市CKD対策

1 CKD患者の紹介件数の報告は必要ありません！

平成28年度からCKD病診連携システム(CKD78)が開始し、年々、連携する医師が増え、**CKD登録医 65名、腎臓診療医 35名**がご登録いただいています。CKD78の取組評価として、CKD登録医と腎臓診療医の連携を図る指標「CKD患者の紹介件数」を集計してきました。紹介件数は、H28とR5を比較すると約5倍に増え、CKD78の取組が医療機関に浸透していると評価しております。

しかし、「CKD78の基準で紹介した患者数のみを把握することが難しい」、「多忙な診療中に報告が難しい」という医師の声もありました。

そこで、紹介件数の全数把握が困難であること、9年間の取組で医療機関に浸透していることから、「**CKD患者の紹介件数の報告は廃止する**」ことになりました。(令和5年度那覇市CKD病診連携推進会議にて決定)

これまで、診療の合間にFAXで報告して頂いた先生方、ご協力ありがとうございました。感謝しております。

CKD78は令和7年度に10年目を迎え、取組を見直す時期となっております。

これからの取組や指標を検討し、引き続き、医療関係機関と連携して、CKD対策を推進してまいります。

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
腎臓診療医へ紹介した件数	82	153	507	182	477	259	435	370
(上記のうち、CKD登録医からの紹介件数)	未集計	未集計	未集計	98	261	122	233	89

2 那覇市CKD病診連携推進会議は新体制となりました！

「那覇市CKD病診連携推進会議」の立ち上げ当初から会長としてCKD対策にご尽力頂いた田名毅先生(首里城下町クリニック第一)が沖縄県医師会会長にご就任され、本会議の新会長に小禄雅人先生(新健幸クリニック)を選任し、さらに、上原圭太先生(那覇市立病院)が新規委員の新体制で、令和6年11月26日に本会議を開催しました。本市の透析の現況(裏面に抜粋掲載)、腎臓診療医へ紹介基準の見直し、今後の展開等を検討・意見交換し、CKD対策の取組に反映しています。

紹介基準や取組の変更等については、次年度にお伝えします。

【令和6年度委員】

《腎臓診療医》 小禄 雅人(委員長)、真栄城 修二、宮良 忠、上原 圭太
 《CKD登録医(かかりつけ医)》 屋宜 宣治、宮城 正剛
 《沖縄腎臓病協議会》 野嵩 正恒 《健康保険協会》 谷川 聖
 《那覇市保健所》 仲宗根 正(副委員長)

【委員の皆さま】



【オブザーバーとして、県職員、薬剤師会、企業参加】



3 ナッジ理論を活用したCKDポスターで普及・啓発！

ナッジ(nudge)とは、「そっと後押しする」という意味で、「行動科学の知見から、人々が自分自身にとってよりよい選択を自発的にとれるように手助けする手法」のことをナッジ理論といいます。そこで、CKDワーキングチームを発足して、ナッジ理論を活用したCKD啓発ポスターを作成し、試験的に、那覇市保健所内9か所(玄関、エレベーター内、トイレ入口等)に掲示しました。2か月間で、約130人の市民がチラシを持ち帰っていただいたことは、市民がCKDを知るきっかけとなり、市民周知に効果があったと評価しています。

今後も多くの市民の目に触れ、CKDを知るきっかけ作りができるよう取り組んでまいります。

問1

大谷翔平選手が活躍したプロ野球リーグはMLBだが、CKDとは何？

答えはこちら

問2

「成人の8人に1人の割合」というと、次のうちどれ？

①CKD ②嚔嚔を持っている ③マッチングアプリをしている

答えはこちら

問3

知らないうちに進むものとは？

①CKD ②嚔毛 ③加齢

答えはこちら



那覇市CKD対策

4 那覇市の透析患者の現況

① 透析患者の推移

- 平成 30 年度(944 人)をピークに減少傾向
- R5 年度総数は 938 人であり、前年度より 22 人増加しているが、そのうち、新規は 111 人であり、前年度より 10 人減少

【参考】わが国の慢性透析療法の現況(2022/12/31 現在)

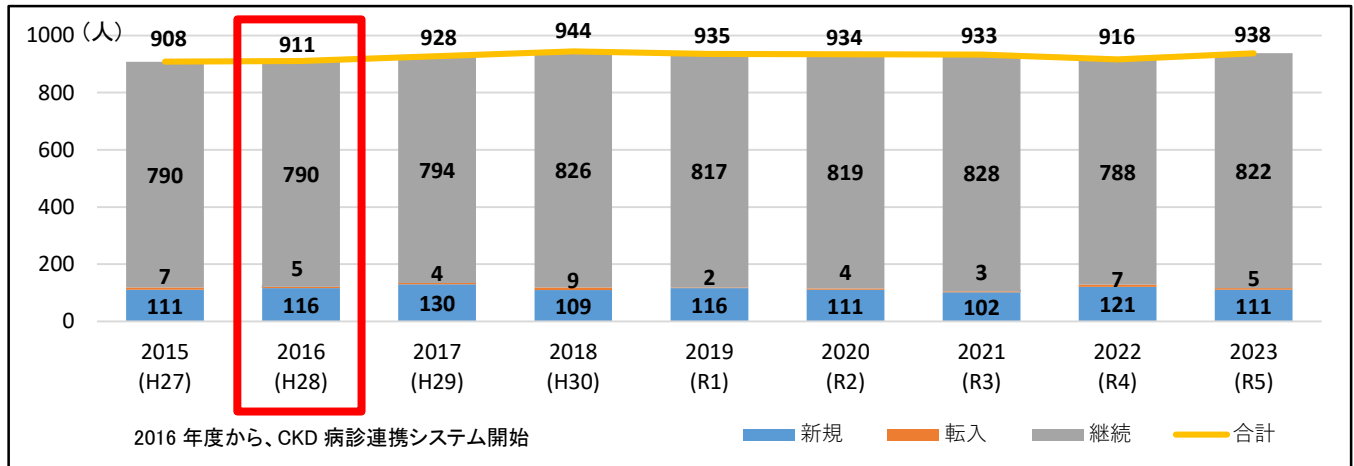
人口 100 万人あたりの透析患者数

1位徳島県

9位沖縄県(3,325.6 人)

全国平均(2,781.0 人)

※沖縄は透析患者が多い地域



出典：自立支援医療(更生医療)申請による集計。新規・転入は資格取得日、継続は申請日で集計。

② 新規透析患者の平均年齢

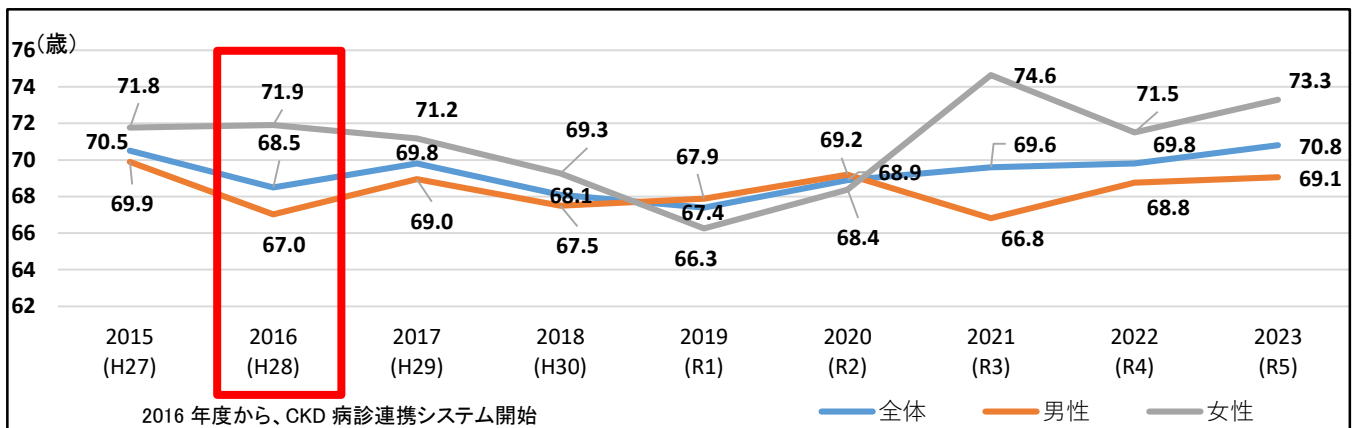
- 平成 28 年度と令和5年度を比較すると、2.3 歳上がっている
- 令和元年以降、平均年齢は男女ともに上昇傾向にある

【参考】日本透析学会統計調査報告書(2023 年)

全国の新規透析平均年齢

全体 71.59 歳、男性 70.93 歳、女性 73.12 歳

※那覇市は、全国より新規透析年齢が若い



出典：自立支援医療(更生医療)申請による集計。新規・転入は資格取得日、継続は申請日で集計。

透析患者数は年々増加していますが、新規透析患者数は減少傾向にあり、透析導入の年齢が高齢化していることから、透析を開始する時期を遅らせ、働き盛り世代が重症化していないと評価しております。

平成 28 年度から CKD 対策を本格的に開始し、9年間取り組んできた成果と考えております。今後も、CKD の現況をみながら、健康課題を明確にし、効果的な対策を、医療機関・関係団体・企業等と連携し、取り組んでまいります。